

インフラ廃材よ、よみがえれ！ とくやまリバイバルミラジウム ✨開館します！

案内：いんふら ぱふっ れでいーす

徳山工業高等専門学校

環境建設工学専攻 1年：齊藤遥奈

土木建築工学科 3年：◎鶴田こゆき 2年：飯田ひかり、國富彩花 1年：富田結子、山口結愛



老朽化した地元インフラの一部を展示し、未来へつなぐミュージアム！
ターゲットは、地元の方々(主に周南市の小・中学生とその保護者)！！

01. 課題と着想

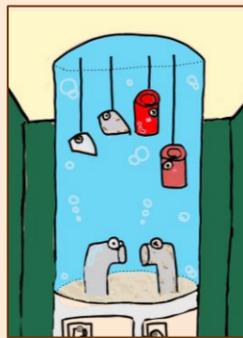
03. 提案内容

04. 運営形態

インフラ施設の老朽化と維持管理の人材不足が深刻化するなか、私たちが親しんできたインフラは撤去されることしかできないのか？老朽化した地元インフラを廃材とせず、活用する方法はないのか？
そんな思いから誕生したのが、とくやまリバイバルミラジウム ✨(とくやまリバミラ)である

①無人展示ブース(常設)

廃材となった地元インフラの一部を譲り受けて商店街に展示し、インフラの老朽化を正しく認識するコンテンツを提供する



廃材を解説文とともにかわいらしく展示。構造物全体写真や3Dモデル・同じ部材の健全な状態を並べて展示し、視覚的にインフラの老朽化、維持管理の大切さを伝える。



市民がインフラの維持管理に参加できる「しゅうなん通報アプリ」のQRコードを設置。アプリの周知、利用を促し、市と市民の協力体制をつくる。

管理者

- ①市役所
工事の際に発生したインフラ廃材を企業から確保し、リバミラに提供する。地元企業へ有人イベントの周知を行う。
- ②学生
展示ブースの配置や展示物の説明文を作成する。電気のオンオフ、入口の施錠をスマホから遠隔操作するなど、施設の管理も行う。

運営費

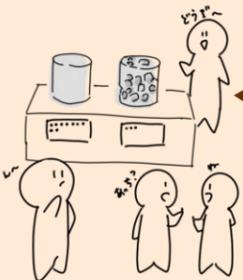
企業の出展料や雑貨の売上でまかなう。



02. 選定地域

②有人イベント(限定開催)

商店街の既設イベントと同時に、地元の建設企業による自社技術の紹介や、高専生によるインフラ維持管理ツアーを開催し、体験メインでインフラについて学ぶ



企業から **出展料** を頂戴するよ

企業による体験会の様子



高専生によるインフラ点検体験

しゅうなん通報アプリ + 無人展示の宣伝



05. 得られる効果

1. 商店街の店舗稼働率を向上させ、衰退化した商店街に新たな活気をもたらす。
2. 市民のインフラの老朽化・維持管理についての認知度向上に繋げる。
3. リバミラの展示や体験イベントを通して「しゅうなん通報アプリ」の関心を高め、市民による身近なインフラの老朽化の発信を助ける。
4. 地元インフラに特化した展示や、イベントを通じた企業と市民の交流が若者が地元の建設業界に興味を持つきっかけとなる。

③その他店舗(リバミラが盛り上がったたら)

廃材とUVレジンを組み合わせた雑貨店の運営、インフラ関連の本屋や図書館、飲食店の誘致を目指す



山口県周南市
徳山駅前商店街(銀座中央街)
テナントのうちの2店舗を借りて無人展示を運営する。



徳山駅から
徒歩3分！

